

平成27年度 第1回通学区域審議会会議録

開催日時：平成27年7月2日（木）午前10時から

開催場所：習志野市教育委員会1階大会議室

出席者：審議会委員 村田均委員（会長）、田中真太郎委員、中山恭順委員、諏訪晴信委員、辻利信委員、赤松茂頭委員、宮内宏和委員、佐賀正栄委員
友常雅子委員

市側（事務局） 植松教育長，市瀬学校教育部長、田久保学校教育部参事，
小熊学校教育部次長，小野寺教育総務課長，天田学校教育課長
三角学校教育部主幹、上原学校教育部主幹、利根川学務係長
奥秋管理主事，合田管理主事

傍聴者なし

会議の概要

【開会】

【教育長挨拶】

【新委員委嘱状交付】

【委員紹介】

【内容】

- ① 会長選出について
- ② 報告「東習志野2丁目18番の一部弾力化通学区域の現況について」

事務局より、「東習志野2丁目18番の一部弾力化通学区域の現況について」報告

まず初めに、昨年度までの通学区域審議会での2年間の協議を経て、弾力化通学区域と変更された東習志野2丁目18番の一部について、その変更について再確認した。本年度、当地域から指定校変更して実花小学校へ入学した児童は、すべて1年生で58人。また、当地域から指定校変更なしで東習志野小学校に通学している1年生児童数は56人でほぼ同数である。この度の施策については良い結果を生んでいると思われる。

その流れで、市内全小学校の児童数、学級数を提示した。すると、東習志野小学校の突出した人数はもちろん、逆に小規模の学校にも気づかされる。現在、市内全域から通学が認められている「特認校」である、向山小学校と秋津小学校の他、香澄小学校、谷津南小学校、袖ヶ浦西小学校などがそれにあたる。特に、特認校の2校より袖ヶ浦西小学校の方が児童数、学級数共に少なくなってしまった現状から、本年度の通学区域審議会では、特認校について再考したいと考えている。

質疑応答

（田中委員） 資料を見た限り、うまく東習志野小と実花小とで人数が分かれたようだが、家庭の声はどうなのだろうか？同じマンションで、違う小学校に通っていることも考えられると思うが、実際のところどんな様子なのか。

(天田学校教育課長)

本年度入学の児童については、ほぼ半分に分かれた訳だが、これは既に小学校に通う上のお子様を持つご家庭については、その関係で東習志野小学校に入学したところが多いようです。一方、第1子が入学されたご家庭については実花小学校を選んだところが多いようです。マンションごとの状況については、調査しておりません。

(田中委員)

東習志野小学校も実花小学校も、どちらも第四中学校に進学するが、そちらは大丈夫なのか。

(天田学校教育課長)

第四中学校においては、余裕教室も十分あり、人数の推計値から見ても現状の施設で対応が可能と考えております。しかしながら、状況を常に把握して適切に対応することに努めてまいります。

(友常委員)

実花小学区に住んでいるが、地域の現状としては、先程事務局が説明した通りであり、兄弟関係で小学校を選択したご家庭が多い。今回の通学区域の弾力化のおかげで実花小学校も活気のある学校になったことを実感している。

(佐賀委員)

同じマンションに住んでいて、違う小学校に通学していることが起こっているわけなので、コミュニケーションをとることが地域としては重要となる。マンションの中での各家庭の通学の状況や、コミュニケーションをとるための方策が何かしらとられているのかを調査する必要がある。

(村田会長)

他に御意見、御質問等ございますか。

(宮内委員)

報告のプレゼンテーションの中で、あたご橋の柵の高さを上げる工事が始まると聞いて安心した。さらに、あたご橋の近辺に大型店舗を建設中である。子供たちの安全のために引き続き見守りをお願いしたい。

(天田学校教育課長)

引き続き、安全第一で行っていく。

(村田会長)

その他いかがですか。

それでは、本日の審議会では報告のみとなっています。事務局は、本日審議委員から出た質問とその応答についてまとめ、後日、議事録として報告をお願いします。

【事務連絡】

9月から始まる谷津南小学校へのバス通学について連絡し、定期券の扱いやバスの運行について改めて御報告することと共に、次回の審議会では小規模特認校について御審議いただくことを連絡した。

【全体を通した質問】

(佐賀委員) 特認校である秋津小学校への、学区外からの通学者は何名くらいいるのか。

(事務局) 10名前後である。

(宮内委員) バス通学において、運賃(定期)の負担はどこがするのか。

(事務局) 定期券は市の負担であり、保護者の負担はない。

【閉会】

主管課：教育委員会 学校教育部 学校教育課